



第8回和木町 消防操法大会

6月16日(日)、スカイドーム2000の駐車場で、6年ぶりとなる第8回和木町消防操法大会を開催しました。和木町消防団の団結の強化と消防精神の高揚を図り、消防技術を練磨し、迅速な消防活動を体得させ、もって郷土防災に寄与することを目的としています。



今大会は、7つの分団から8チームが出場し、団員たちの日々の訓練の成果を披露し、**第7分団が優勝**を飾りました。おめでとうございます。

準優勝 **2分団** | **優勝 7分団** | 3位 **1分団B**

優勝された第7分団は、7月14日(日)の郡大会に出場され、県大会進出を目指して訓練に励まれます。がんばってください。

最優秀選手賞



全国農業共済組合連合会から感謝状が贈呈されました



(左から) 藤本副町長、池田組合理事長

5月28日(日)、熊本県農業共済組合の池田裕之組合理事長が来庁され、農業収入保険の加入促進に尽力したことに対し、全国農業共済組合連合会からの感謝状を贈呈していただきました。

本町では、令和5年度から農業収入保険について、加入者の負担を軽減するため、保険料の掛金の一部を補助しています。

農業収入保険は、農作物を対象に、自然災害や価格低下だけではなく、農業者の経営努力では避けられない収入減少が広く補償されます。皆さんの積極的な加入をお願いします。

「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう」キャンペーン



(左から) 石原町長、玉名酪農業協同組合女性部の皆さん

6月7日(日)、玉名酪農業協同組合女性部から、牛乳の贈呈がありました。

「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう」キャンペーンは、牛乳の消費拡大・PRの取り組みで、熊本県の酪農家のアイデアがきっかけで始まり、現在は全国で取り組まれています。

女性部長の井上さんは、「昨今の酪農事情は厳しい状況にありますが、町民の皆さんのもとへ安心・安全な牛乳が届くよう、精一杯頑張りたいと思います」と話されました。

和木町には酪農家が6軒あり、年間約5,000トンの生乳が生産されています。

台湾屏東県九如郷と国際交流促進覚書を締結しました



(左から) 九如郷民代表會 陳清進主席、石原町長、九如郷 藍聰信郷長、屏東県政府 鄧鳳蘭処長

5月28日(日)、台湾屏東県九如郷(きゅうじょきょう)公所で和木町と九如郷は両都市の地域振興や人材育成等に向けて、国際交流の促進に協力して取り組むため、国際交流促進覚書(MOU)を締結しました。

今後は、この覚書に基づき、親交を深め、両都市の更なる発展に繋がるよう、経済、教育、文化、スポーツなど様々な分野において交流を図ってまいります。

～九如郷の紹介～
 ・人口 21,619人 (2024年1月末現在)
 ・戸数 7,561戸数
 ・面積 42.0187平方キロメートル
 ・産業 農業(レモン、バナナ、グアバ)、養殖業(タイエビ、甲魚)、畜産業(豚、鶏の卵)

